

平成17年(2005年)12月20日

南信州広域連合
広域連合長 牧野光朗 様

高等学校の未来検討委員会
委員長 岡庭一雄

南信州地域としての望ましい高等学校配置について(答申)

平成17年10月13日付南広第337号で諮問のありました標記の件について、下記のとおり答申します。

この答申は、長野県教育委員会が各地区高校改革プラン推進委員会に対して、検討結果の報告を平成18年1月までに求めている中で、魅力ある高校づくりをはじめとした高校改革の原点論議をすることができず、現実に即した代案検討を進めざるを得ない状況下のものではあったことを申し添えます。

貴職におかれては、この答申の実現に向けて最大限の努力をされるよう要望します。

記

1 高等学校改革プランに対する代案

長野県教育委員会は県立高校再編整備候補案として、比較的近距離にある飯田長姫高校と下伊那農業高校を統合して新たな高校を設置し、この新たな高校を総合学科高校の候補とすること。また、飯田長姫高校の土木科・建築科を飯田工業高校へ統合する。とのたたき台が示されたが、当地域としては次の代案が望ましい。

【代案】

飯田長姫高校と飯田工業高校を統合し、併せて両校の定時制も統合する案とする。

- ・ 統合に際しては、両校の6学科を存続させるとともに、ものづくりを中心とした専門高校として南信地区の拠点校となるよう充実を図ること。
- ・ 統合により、実習環境や設備等の規模が現状より縮小しないこと。
- ・ 今後の進め方は両校に任せることなく、広域連合として責任を持って進めること。

2 今後の課題

- (1) 職業教育の学科は原則堅持して、職業教育の在り方を検討していく必要がある。
- (2) 魅力ある地域高校づくりについて、更なる検討をしていく必要がある。
- (3) 将来にわたり多部制・単位制高校の在り方の検討を深める必要がある。
- (4) 将来にわたり総合学科高校の在り方の検討を深める必要がある。

3 今般の高校改革に伴う当検討委員会の議論は、長野県教育委員会が各地区推進委員会において平成18年1月までに報告を求める極めて窮屈な日程の中で進めざるを得なかったものであり、拙速であることは否めない。従って、生徒達が自ら考え行動し、地域の未来を切り拓く力を身に付けるための本質議論である「魅力ある高校づくりに」については時間的余裕がない中で殆ど論議をすることができなかったが、このことは、今後においても重要な課題であり、地域の教育関係者や保護者等が一堂に会した検討が実現できるよう県立高校の設置者たる長野県教育委員会へ要望されたい。

[参 考]

審議経過

長野県教育委員会の再編整備案は拙速であるが、少子化の進行に伴い時代の流れに合った改革は必要との共通認識で検討を進めた。

高等学校の未来検討委員会は高校改革プラン推進委員会の下請機関ではないことの確認を行ったが、推進委員会の日程に呼応する対応をとらざるを得ない状況にあった。

検討委員会議論の概要

【10月13日(木)】

高校改革プランに関する経過説明

意見交換

- ・ 本来は、魅力ある高校づくり等教育の本質議論をすべき
- ・ 県教育委員会の再編整備案は拙速
- ・ 少子化が進行する中で改革は必要

【10月31日(月)】

生徒数の推移と今後の推計、総合学科等の資料説明

意見交換

- ・ 検討委員会は推進委員会の下請機関ではない
- ・ 目下の情勢から現実的な代案検討か教育の本質論か
- ・ 私案提示(多部制単位制高校導入、総合学科導入、現校維持)

【11月10日(木)】

今後の進め方として推進委員会の論議の範囲で提案できるものを議論
(全日制1校減をベースに当地域としての代案を検討)

意見交換

- ・ いくつかの私案についての意見
- ・ 教育課題は県教育委員会へ照会
- ・ 委員各位の具体案を事前に事務局へ

【11月16日(水)】

代案検討

- ・ 多部制単位制高校、専門高校の統合等

【12月2日(金)】

代案検討

- ・ 代案 飯田長姫高校と飯田工業高校の専門校の統合

【12月16日(金)】

答申案検討

17南広第337号
平成17年(2005年)10月13日

高等学校の未来検討委員会
委員長 岡庭一雄様

南信州広域連合
広域連合長 牧野光朗

南信州地域としての望ましい高等学校配置について(諮問)

長野県教育委員会では、長野県高等学校改革プラン検討委員会の最終報告を受け、5月以降、県立高等学校再編についての削減校数や具体的な再編整備候補校を公表するとともに、県下4通学区ごとに高等学校改革プラン推進委員会を設置して、この推進委員会において年内を目途に再編整備などの検討がされています。

また、高等学校改革プラン推進委員会に、地域の実情を反映する場としての部会設置を期待してきましたが、その可能性は不透明な状況にあります。

こうした中、南信州地域としての望ましい高等学校の配置について、貴委員会の意見を求めたいので、ここに諮問します。